

資料3-1																			進捗管理シート(吉井川)			
項目		事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市					
					実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期				
1)ハード対策の主な取り組み																						
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策																						
		＜吉井川＞ ・流下能力対策	実施状況	＜吉井川、金剛川＞ バイピング対策 流下能力対策	継続実施																	
			今後の予定	＜吉井川、金剛川＞ バイピング対策 流下能力対策	継続実施																	
		＜県管理河川＞ ・堤防や拡幅等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土 の掘削や樹木の伐採 ・変状などが確認された箇所 の速やかな修繕	実施状況					広域河川改修事業20河川、総合流域防災事業3河川をはじめ、県単独事業においても堤防や拡幅等の整備を実施。 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施。 堤防点検等を実施し、緊急の修繕が箇所の対策を実施。	発災後から随時 (主には非出水期)													
			今後の予定				現在の取り組みを継続	継続実施														
■危機管理型ハード対策																						
		＜吉井川、金剛川＞ ・天端の保護	実施状況	＜吉井川＞ 天端の保護	H28年度																	
			今後の予定	＜吉井川＞ 天端の保護	継続実施																	
		＜県管理河川＞ ・堤防天端の保護 ・堤防裏法灰の補強	実施状況					対策箇所を選定	R1年度													
			今後の予定					選定箇所において天端舗装を実施	～R3年度													
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																						
		・雨量・水等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況	公開用カメラの増設 事務所HP公開ライブカメラ数71箇所	H29年度			危機管理型水位計等の増設(78基) H30年度に48基、令和元年度に30基増設。(吉井川水系 22基、旭川水系 9基、高梁川水系 16基、その他 31基)	～R1年度													
			今後の予定	継続実施	継続実施			令和元年度増設箇所については、令和2年度の出水期までに公開する予定。	R2.6													
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施状況						実施済み	H28年度	合併旧町村においては防災行政無線を設置。緊急告知防災ラジオについてR元年度以降は、無償配布を継続するとともに、販売事業を実施。	R1年度～	H31(R1)デジタル同報系防災行政無線の整備 実施設計 実施済み	R1年度～R4年度	消防庁にアドバイザーの派遣を要請	H30年度						
			今後の予定						防災行政無線(アナログ)、防災行政無線(デジタル)の無線規則への適応 緊急告知ラジオの配備の促進	H31年度(R1年度)～R2年度 継続実施	事業継続	継続実施	R2～ デジタル同報系防災行政無線の整備 工事着手	R1年度～R4年度	将来構想を策定 ○情報伝達手段の整理・改良 ○多様な情報取得手段の普及啓発 実施設計及び施工着手	～R1年度 R2年度～						
		・重要水防箇所の見直し	実施状況					令和元年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(破堤箇所及び一連区間、漏水箇所、陸開等の追加) 令和2年度の出水期前に重要水防箇所の見直しを実施(堤防点検結果や陸開の適正化に伴う廃止等)	～R1年度													
			今後の予定					GISを活用した情報高度化	R2年度													
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	水防資機材等の確認、確保	R1年度			各水防倉庫における水防資機材の備蓄状況を確認した。	H29年度～	水防倉庫の資機材点検、補充 町内会への備蓄土と土のう袋提供 一般市民への土のう配布	R1年度	資材の確認を実施	R1年度	実施済み 避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	R1年度	実施済み	H29年度～					
			今後の予定	資材の確認及び不足した資材の確保	継続実施			定期的に水防資機材の備蓄状況を確認し、不足等が生じれば適宜補充を行う。	～R2年度	継続実施	R2年度	実施予定	R2年度	不足した資材確保の継続実施	継続実施	－	－					
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況	危機管理型水位計の設置検討(3水系で32箇所)	H30年度			＜危機管理型水位計等の増設(78基)＞ H30年度に48基、令和元年度に30基増設。 ＜量水標＞ 水位計に合わせて設置。 ＜河川監視カメラ＞ 令和元年度に41基増設。 (吉井川水系 7基、旭川水系 11基、高梁川水系 12基、その他 11基)	～R1年度							実施済み	H30年度					
			今後の予定	－	－			＜水位計・カメラ＞ 令和元年度増設箇所については、令和2年度の出水期までに公開する予定。	R2.6							－	－					
		・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況	河川・道路管理者が連携し避難階段を整備	H29年度																	
			今後の予定	－	－																	
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況	ダム部会を設置	R1年度			操作規則等の点検を実施を実施	～R1年度													
			今後の予定	令和2年5月29日治水協定を締結	～R2年度			操作規則等の変更														
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況					水門・樋門等無動力化を実施するため、新規事業を創設	R1年度													
			今後の予定					規模や重要性等を踏まえ、優先順位の高い施設から無動力化(フラップゲート化)を実施	R2年度～													
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況					先行事例の情報収集・研究に努める。	～R1年度													
			今後の予定					先行事例の情報収集・研究に努める。	R2年度～													
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況					過去の被災状況、流下能力、土地利用状況などを見ながら、緊急性や必要性の高い箇所から推進。 H30年7月豪雨により大きな浸水被害のあった河川では、樹木伐採や河道掘削を緊急的に実施。	発災後から随時 (主には非出水期)	町内会への可搬式ポンプの無償貸与	R1年度											
			今後の予定					現在の取り組みを継続	継続実施	継続実施	R2年度											

(赤字:令和元年5月29日取組方針改定により追加・変更)

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西栗倉村	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
1)ハード対策の主な取り組み	■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	<吉井川> ・流下能力対策	実施状況												
			今後の予定												
		<県管理河川> ・堤防や拡幅等の整備 ・流下能力を阻害する堆積土の掘削や樹木の伐採 ・豪状などが確認された箇所 の速やかな修繕	実施状況												
			今後の予定												
	■危機管理型ハード対策	<吉井川、金剛川> ・天端の保護	実施状況												
			今後の予定												
		<県管理河川> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	実施状況												
			今後の予定												
	■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	・雨量・水等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	実施状況											未実施	R1年度
			今後の予定											雨量集計システムの更新 雨量計の増設	R3年度以降
		・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	実施済み	H30年度	実施済み	H28年度				防災行政無線デジタル化施工済	H29年度	防災行政無線に加え、光電話による情報周知を運用中 防災行政無線機の故障対応	R1年度	防災行政無線が担っていた機能をFM告知放送へ移行 ラジオ機能を持ったFM告知機を全戸設置	～R1年度
			実施状況												
			—	—	電波が不安定な地区に対して、IP電話などを配布する。	～R2年度			—	—	防災行政無線機の故障対応	継続実施	FM告知機の追加設置・故障対応	R2年度	
			今後の予定												
		・重要水防箇所の見直し	実施状況												
			今後の予定												
		・避難活動や水防活動を支援するための水防資機材等の配備	実施状況	消防施設整備や、自主防災活動の補助金 可搬式排水ポンプの整備	R1年度	「和気町備蓄計画」に基づき、水防資材の購入・配備	H30年度			資材確認実施	H29年度～				
			今後の予定	継続実施	継続実施	目標数が揃うまで実施予定	継続実施			継続実施	継続実施				
		・円滑な避難行動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	実施状況	河川監視カメラ19台	H22年度～					運用中2箇所	R1年度	主要6河川7箇所で運用中	R1年度		
			実施状況												
			今後の予定	赤外線カメラに更新	R2年度					継続実施	継続実施	継続	継続実施		
			今後の予定												
		・河川管理者と道路管理者が協力し、堤防を活用した避難階段を整備	実施状況												
			今後の予定												
		・ダム再生の推進(操作規則の再検討、治水機能の増強の検討)	実施状況												
			今後の予定												
		・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保(樋門や水門等の無動力化)	実施状況												
			今後の予定												
		・河川管理の高度化の検討(陸上・水中ドローンや全天候型ドローン)	実施状況												
			今後の予定												
		・内水の排水活動に資する基盤等の整備	実施状況												
			今後の予定												

資料3-1																		
(赤字:令和元年5月29日取組方針改定により追加・変更)																		
項目	事項	内容	状況	中国地整 実施内容	時期	気象庁 実施内容	時期	岡山県 実施内容	時期	岡山市 実施内容	時期	津山市 実施内容	時期	備前市 実施内容	時期	瀬戸内市 実施内容	時期	
2)ソフト対策の主な取り組み ①「迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み」																		
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(吉井川/金剛川)	実施状況		想定最大規模洪水による浸水想定区域図を公表	H29年度													
		今後の予定		—	—													
	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況							13河川の洪水浸水想定区域図を公表済(吉井川水系 3河川、旭川水系 4河川、高梁川水系 1河川、その他 5河川) 12河川について、早期公表に向け作業中(吉井川水系 10河川、高梁川水系2河川)	～R1年度								
		今後の予定							12河川を順次作成・公表	R2年度～								
	・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況		未実施	R1年度	未実施	H30年度	災害時相互応援連絡協議会で協議中	R1年度～	未実施	R1年度	検討中	R1年度	未実施	R1年度	未実施	H30年度	
		今後の予定		本省実施の自治体への実態調査結果を減災協機関へ周知・共有	R2年度	未定	～R2年度	引き続き協議を行う	継続実施	「岡山県災害時相互協定」と整合をとりながら策定、検討	R2年度	検討中	未定	未定	～R2年度	未定	～R2年度	
	・避難場所等の有効性の検証 や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるとまらごとハザードマップ整備	実施状況							13河川の洪水浸水想定区域図を関係市町に提供済。 12河川について、早期提供に向け作業中	～R1年度	広域避難計画策定後、ハザードマップを作成、整備	H29年度～	検討中	R1年度	未実施	R1年度	広域避難計画策定後、ハザードマップを作成、整備 ハザードマップの更新、指定緊急避難場所及び指定避難所について対象とする異常な事象や指定の重複、用途を整理 広域避難計画策定を反映したハザードマップやまらごとハザードマップは未定	H29年度～ R1年度
		今後の予定							12河川を順次作成・提供	R2年度～	広域避難計画策定後、ハザードマップを作成、整備 ○避難場所の現地確認を行い災害種別に応じた避難経路・場所を検討	R2年度	検討中	未定	広域避難計画策定後、ハザードマップを作成、整備	～R2年度	～R2年度	
	・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進	実施状況		岡山市講習会プロジェクトの開催日程を減災協機関へ周知・共有	R1年度				対象施設毎の水害リスク(浸水深・浸水継続時間)を調査した。	H29年度～	「避難確保計画の策定支援講習会」を実施(3回)	R1年度			要配慮者施設における土砂災害対応マニュアルを作成済み	H29年度	要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援	H29年度～
		今後の予定		継続実施		継続実施			調査した水害リスクを整理し、市町村等を通じて施設管理者等に情報提供する。	～R2年度	継続実施	R2年度			全ての要配慮者施設において支援していく	～R2年度	県の災害リスク調査スケジュールに合わせ実施	～R3年度
	・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況		ハザードマップポータルサイトにて洪水や地震に係るリスク情報等を公開		継続実施			おかやま県統合型GISにより、防災情報の周知に努めている	H28年度～	未実施	R1年度	市ホームページからリンクを継続	R1年度	未実施	R1年度	実施済み	H30年度
		今後の予定		HPの工夫、積極的な広報 ハザードマップポータルサイトにて洪水や地震に係るリスク情報等を公開		継続実施			防災情報の周知について、更なるHPの工夫や積極的な広報に努める	継続実施	HPでの避難所情報などを分かりやすく・見やすいものに改善	R2年度	継続予定	継続実施	未定	～R2年度	未定	～R2年度
	・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況									平成30年7月豪雨の浸水調査を加味した内水浸水想定区域図を作成	R1年度						
		今後の予定									内水ハザードマップを作製	R2年度						
■情報の伝達・発信																		
・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	実施状況		水系全体のタイムラインの精度向上のため、検討会を複数回実施	R1年度		各自治体の作成支援	H29年度～	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確実に伝達し、市町村と協働でタイムラインを作成済	H30年度	運用に関する検討会やワークショップを実施済み	R1年度	検討中	R1年度	タイムラインの精度向上	R1年度	タイムラインの精度向上	H30年度	
	今後の予定		継続実施		継続実施	継続実施	継続実施	水位が上昇した場合の通報先を現在よりも下流側に伝達するよう設定し、早めの避難勧告の発令に備える	～R3年度	継続実施	R2年度	検討中	未定	タイムラインの精度向上検討 ○客観的な判断基準等を定めた避難判断伝達のマニュアルの整備	～R2年度	○避難勧告等発令のガイドラインの見直し	～R2年度	
・多機関連携型タイムラインの拡充	実施状況		水系全体のタイムラインに拡充	R1年度		水系全体のタイムラインに拡充	R1年度	吉井川水害タイムラインの試行版を作成	R1年度	水系全体の自治体も参加する体制を構築	R1年度	吉井川水害タイムラインの試行版を作成	R1年度			吉井川水害タイムライン検討会に参加	R1年度	
	今後の予定		PDCAサイクルにより改善	R2年度		PDCAサイクルにより改善	R2年度	令和2年度から本格的に運用する	R2年度	継続実施	R2年度		令和2年度から本格的に運用する	R2年度		今後も関係機関との連携を積極的に検討していく		
・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況		未実施	R1年度		自治体訓練への参加や支援	H29年度～	リエゾン(情報連絡員)を市町村に派遣し、水害特別訓練を実施した	R1年度～	吉井川水害タイムラインを運用開始	R1年度～	未実施	R1年度	デジタル防災行政無線(移動系)を活用した防災訓練の実施	R1年度	タイムラインの策定・精度向上検討	H29年度～	
	今後の予定		自治体が実施する災害訓練、水防訓練に参加		継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、市町村の実情に応じた避難訓練等と連携した訓練を行う	継続実施	継続実施	R2年度	未定	未定	タイムラインに基づく実践的な訓練の継続実施 ○現場状況の情報連携の強化	～R2年度	未実施	H30年度	
・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進	実施状況		水害リスクラインによる水位情報の提供	R1年度		警報等における危険度の色分け表示 「警報級の現象になる可能性」の情報提供メッシュ情報の充実化	H29年度～	水防協議会(H30.5.14)において、水位周知河川の指定を公表(5河川)。 また、水防協議会(R1.5.15)において、水位周知河川の指定区域の変更を公表(1河川)。 第4回岡山県大規模氾濫減災協議会(H30.5.16)において、全市町村に浸水実績等の資料を提供。 現行基準水位の運用等について、関係市町村にアンケート調査を実施	～R1年度									
	今後の予定		継続実施	R2年度		未定	～R2年度	必要に応じて引き続き、水位周知河川、洪水予報河川の指定を行う	R2年度～									
・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予警報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う	実施状況		洪水予警報や水位周知河川の発表形式の見直しを行った	R1年度		洪水警報、注意報の基準見直しを行い洪水予警報の実施要領の改正をおこなった	5月29日	水位周知情報(氾濫警戒情報、氾濫危険情報)の通知様式に警戒レベル相当や水位状況のボンチ絵を追記するなど見直しを行った。	R1年度									
	今後の予定		必要に応じて見直しを行う	R2年度		必要に応じて見直しを行う	～R2年度	課題が生じた場合は、必要に応じて更なる見直しを検討する。	～R2年度									
・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)	実施状況		ホットライン構築済	R1年度				H30年度出水期前にホットラインを構築。 R1年度出水期前に内容を拡充。	～R1年度	ホットライン構築済み	R1年度		ホットライン構築済	H30年度				
	今後の予定		継続実施	R2年度				対象河川について、引き続き、ホットラインによる情報提供を行う	R2年度～	継続実施	R2年度	継続実施	継続実施					
・メディア連携分科会を設置する、メディア連携施策のフォローアップ ・ネット環境からの情報発信	実施状況		岡山河川事務所公式Twitterを開設	R1年度	—	—	—	—	—									
	今後の予定		継続的な情報発信	R2年度	—	—	—	—	—									

(赤字:令和元年5月29日取組方針改定により追加・変更)

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西栗倉村	
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
2)ソフト対策の主な取り組み ①泊り来る危機を認識した的確な避難行動のための取り組み															
■広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション(吉井川/金剛川)	実施状況													
		今後の予定													
	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図の作成・公表(岡山県管理区間)	実施状況													
		今後の予定													
	・広域避難計画の策定 ・広域避難体制の構築等	実施状況			未実施	H30年度			未実施	R1年度					
		今後の予定			未定	～R2年度			未定	未定					
	・避難場所等の有効性の検証 や広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知、及びまるごとまちごとハザードマップ整備	実施状況			未実施	H30年度			未実施	R1年度					
		今後の予定			○要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進	～R2年度			未定	未定					
	・要配慮者利用施設の避難計画の作成支援および訓練の促進	実施状況	要請があった場合にその都度対応	R1年度	要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援	H29年度～			R1.3防災計画改定に伴い要配慮者利用施設記載	R1年度					
		今後の予定	未定	未定	未定	～R2年度			防災計画に記載した施設の避難計画作成支援	R2年度					
	・ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	実施状況			未実施	H30年度			未実施	R1年度	国交省、県のホームページへのリンク設定に加え、気象台の「気象友の会」自治体会員となり降水量・土砂災害の危険度把握能力を向上	R1年度			
		今後の予定			○ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	～R2年度			未定	未定	継続実施	継続実施			
	・内水の排水活動に資するソフト対策	実施状況													
		今後の予定													
	■情報の伝達・発信	・避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	実施状況	その都度検証	R1年度	台風接近時には、気象台が発表する情報を説明会で確認し、県と協同でタイムラインを作成している。	H30年度	風水害に関するタイムラインを作成済	R1年度	台風接近等に合わせ作成	R1年度	台風タイムラインの作成(10号、19号)(R1.8、R1.10)	R1年度	作成済み	R1年度
			今後の予定	継続実施	継続実施	○避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上	～R2年度	タイムラインの精度向上	R2年度	継続実施	継続実施	作成継続、精度の向上	継続実施	精度向上に向けて改良予定	R2年度
		・多機関連携型タイムラインの拡充	実施状況	吉井川水害タイムラインの試行版を作成	R1年度					吉井川水害タイムラインの試行版を作成	R1年度				
			今後の予定	令和2年度から本格的に運用するCATVと連携	R2年度					令和2年度から本格的に運用する	R2年度				
		・タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	実施状況	未実施	R1年度	岡山県の実施する水害特別訓練へ参加	H30年度			未実施	R1年度				
			今後の予定	未定	未定	○タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練	～R2年度			未定	未定				
・警報等に関連して「危険度を色分けした時系列」や「警報級の現象となる可能性」の情報提供開始及びメッシュ情報の充実化(地域に迫る危険の把握をサポート)等水害危険性の周知促進		実施状況													
		今後の予定													
・危険レベルの統一化等による災害情報の充実と整理、洪水予警報や水位周知情報の発表形式の見直し等を行う		実施状況													
		今後の予定													
・洪水時における河川管理者からの情報提供(ホットラインの構築)		実施状況	ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	水位周知河川の拡大なし		ホットライン構築済	H30年度	ホットライン構築済	H30年度	未実施	R1年度	
		今後の予定	継続実施	継続実施			ダム関係者との情報提供の確立	R2年度	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	未定	R2年度	
・メディア連携分科会を設置する、メディア連携施策のフォローアップ ・ネット環境からの情報発信		実施状況													
		今後の予定													

資料3-1																			
(赤字:令和元年5月29日取組方針改定により追加・変更)																			
項目	事項	内容	状況	中国地整		気象庁		岡山県		岡山市		津山市		備前市		瀬戸内市			
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
2)	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	水防災意識社会再構築ビジョンに基づく減災協議会資料を岡山河川事務所HPに公表	継続実施	関係機関と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を実施(R元年度出前講座等実施 47回)	H29年度～	出前講座等における防災情報をすることで、水防災意識社会に関する情報を提供	R1年度	自主防災組織や各種団体の会合において講話等を実施	～R1年度	水防災に関する防災訓練、出前講座を活用した講習会の開催実施済み、特に自主避難体制の強化を図る内容とした。	R1年度	吉井川水系に係る浸水想定区域の図上訓練の実施済み	H29年度		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	引き続き、出前講座等を活用し、防災知識の普及啓発活動を実施する	継続実施	継続実施	R2年度	継続中	R2年度～	水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催を継続○自主避難体制の強化	継続実施	実施予定	継続実施		
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	教員向けの講習会、防災教育のモデル授業への支援を行った	R1年度	教育委員会等と連携し、効果的な対応を検討する	H29年度～	小学1年生を対象に、防災知識について学べる「防災ワークシート」を作成し、県内小学校に配布した	R1年度	中学校において全校生徒を対象とした出前講座を実施(1校)市立学校への学校安全アドバイザー派遣を実施	R1年度	市内小学校1校で、防災教室を実施	～R1年度	幼稚園、保育園、小学生、中学生を対象とした防災訓練への参加済み	R1年度	教職員を対象とした防災研修の実施、小学生を対象とした防災授業の実施	H29年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	新たに小学生(中学年・高学年)を対象に、防災知識について学べる「防災ワークシート」を作成する。	継続実施	130校実施予定	～R3年度	継続予定	R2年度～	防災教育の実施	継続実施	実施予定	継続実施		
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況	各自治体毎のマイ・タイムライン作成のためのヒント集を作成	R1年度														
			今後の予定	継続実施	R2年度														
		・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	スマートフォン等によるプッシュ型の洪水情報発信の実施	H30年度			登録制防災情報メールで、気象情報や水位情報、指定河川洪水予報を発信(R2.3.1現在 登録者数 67,160人)	R1年度	防災メールの普及を推進LINEによる防災情報の配信を開始	H30年度	随時、メールへの登録の呼び掛けを実施するとともに、発信手段を増やした。	～R1年度	登録型防災メール、スマホアプリの普及啓発実施済み	R1年度	実施済み	H28年度～		
			今後の予定	—	—			防災情報メールの登録者数を増やす取組を引き続き実施する。	～R2年度	防災メールの普及を推進LINEへの登録を促進	R2年度	今後も実施予定	R2年度～	引き続き実施	継続実施	実施予定	～R2年度		
		・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	公開用カメラの増設事務所HP公開ライブカメラ数71箇所	H29年度			危機管理型水位計等については、H30年度に48基、令和元年度に30基増設。河川監視カメラについては、令和元年度に41基増設。	～R1年度								実施済み	H28年度～	
			今後の予定	継続実施	継続実施			令和元年度増設箇所については、令和2年度の出水期までに「川の水位情報」を通じて、水位・河川監視カメラ画像などの情報提供。	R2.6								引き続き実施	継続実施	
		・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	継続実施	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	H29年度～	HPや広報誌、ポスター、チラシ、ラジオ、新聞広告による災害情報の広報・周知を行った。	H30年度～	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を行う	R1年度	広報紙への特集記事の掲載を実施	～R1年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知実施済み	R1年度	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を行う	H29年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「ももたろうの防災」の改訂などを行い、啓発資料を効果的に用いて、住民向け広報を強化する	R2年度	HPや広報誌、ポスター、チラシによる災害情報の広報・周知	R2年度	今後も実施予定	R2年度～	引き続き実施	継続実施	実施予定	～R2年度		
		・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況					地元小学生を対象に工事現場見学会等を実施	R1年度	平成30年7月豪雨災害記録誌を作成	R1年度	未実施	R1年度	未実施	R1年度	市総合防災訓練への参加を出前講座等を通じて啓発している	継続実施		
			今後の予定					継続的に実施	R2年度～	特に予定なし	R2年度	未定	未定	未定	未定	継続	継続実施		
2)ソフト対策の主な取り組み ②災害特性に応じた効果的な水防活動																			
2)	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団等が参加する洪水に対するリスクが高い区間の共同点検	実施状況	水防団等を対象に重要水防箇所の周知、合同の河川巡視を実施	R1年度	河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～			実施済み	R1年度			河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～	河川事務所が実施する共同点検に参加	H29年度～		
			今後の予定	継続実施	～R2年度	未定	～R2年度			実施予定	R2年度			河川事務所が実施する共同点検に参加	～R2年度	未定	～R2年度		
		・関係機関が連携した実働水防訓練の実施	実施状況	未実施	R1年度	関係機関等の要請に基づき、水防管理団体が行う訓練を支援	H29年度～	関係機関の連携によるタイムラインに基づいた図上・実働訓練を行う県水害特別防災訓練を実施した。	～R1年度	毎年度、6月に水防訓練を実施	H30年度	隔年で津山市総合防災訓練を実施	R1年度	実施済み	H28年度～	実施済み	H28年度		
			今後の予定	各自治体の訓練に積極的に参加	継続実施	未定	～R2年度	毎年出水期前に訓練を実施し、風水害に対する応急対応力の向上を図る。	R2年度	今後も継続して行う	R2年度	訓練実施予定	R2年度～	関係機関が行う水防訓練へ参加	継続実施	引き続き実施	継続実施		
		・水防活動の担い手となる水防団員の募集及び水防協力団体の募集・指定を促進	実施状況	岡山河川事務所HPに水防団員を募集している旨の記事を掲載	継続実施					実施済み	H30年度	広報誌で呼びかけた	R1年度	実施済み	H28年度～	実施済み	H28年度～		
			今後の予定	継続実施	継続実施					継続予定	R2年度	継続実施	継続実施	市ホームページや広報誌等、団員による勧誘で募集していく	継続実施	引き続き実施	継続実施		
		・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実及び機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電等の整備)	実施状況	未実施	R1年度			市町村が適切な災害対応を行えるよう、業務継続計画(BCP)の作成を働きかけた	H29年度～	未実施	R1年度	Jアラートとの自動連携を継続している。無償配布及びメールへの登録呼びかけも継続している。自家発電機やバッテリーを整備済	R1年度	市新庁舎建設に伴い耐水化、非常用発電等の整備を実施	R1年度	未実施	H30年度		
			今後の予定	情報伝達、機能確保のための対策の充実に向けて検討	継続実施			業務継続計画(BCP)の作成に加え、受援体制の整備を働きかける	継続実施	浸水想定区域内の庁舎や災害拠点病院等に関する情報を共有	R2年度	—	—	実施済み		未定	～R2年度		
		・地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施状況	災害発生時における応急対策活動の担当区域等を設定し相互協力ができる体制構築を依頼	H30年度					協定内容の確認を行い、内容に修正等が必要な場合は協議し修正する	H30年度	協定内容の確認を行った	R1年度	地域の建設業協会と協定を締結している。実績なし。	R1年度	未実施	H30年度		
			今後の予定	継続実施	継続実施					関係部局と内容について、確認し協定先と協議し必要があれば協定の修正を行う	R2年度	—	—	関係部局と協議し、内容の見直し等は都度行う。	～R2年度	未定	～R2年度		
		2)ソフト対策の主な取り組み ③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策																	
		2)	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機場・樋門・水門等の情報共有を行い、大規模水害を想定した排水計画を検討及び訓練の実施	実施状況	排水計画(案)を作成	R1年度			H30.7月豪雨時のポンプ稼働状況について、関係市町村に調査を行い、一部の施設で操作規則が作成された。	～R1年度	国が作成する計画の情報を共有	R1年度	検討中	R1年度	未実施	R1年度	未実施	H30年度
					今後の予定	作成した排水計画(案)を市町村に共有	R2年度			必要な対策を関係市町村と協議しながら検討を進める。	継続実施	継続実施	R2年度	検討中	未定	未定	～R2年度	未定	～R2年度

(赤字:令和元年5月29日取組方針改定により追加・変更)

項目	事項	内容	状況	美作市		和気町		鏡野町		勝央町		奈義町		西栗倉村		
				実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
	■防災教育や防災知識の普及	・水防災に関する説明会、出前講座を活用した講習会の開催	実施状況	各団体からの要請により実施	R1年度	実施済み 町内イベントに防災ブースを出展	H29年度	出前講座の開催(5回) 防災イベントの開催(1回)	R1年度	自主防災組織リーダー等防災研修を実施	R1年度					
			今後の予定	継続実施	継続実施	実施予定	～R2年度	実施する予定	R2年度	継続実施	継続実施					
		・教員を対象とした講習会の実施、小学生を対象とした防災教育の実施	実施状況	実施済み	R1年度	小中学校で防災に関する授業を実施済み	H29年度	教員を対象に実施(1回)	R1年度	教育部局と連携し教職員への防災研修	R1年度					
			今後の予定	継続実施	継続実施	引き続き実施	継続実施	未定		継続実施	継続実施					
		・指導内容に合わせた教材等の作成支援	実施状況													
			今後の予定													
		・スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の発信	実施状況	登録型防災メール、アプリの活用	R1年度	実施済み	H29年度～	登録制メール配信事業の啓発継続	R1年度	登録型防災メールの普及啓発継続	R1年度					
			今後の予定	普及促進	R2年度	〇スマートフォン等へのプッシュ型洪水情報等の配信	～R2年度	登録制メール配信システムの強化見直し	R2年度	継続実施	継続実施					
		・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	実施状況	河川監視カメラ19台 市HP、アプリ、CATVデータ放送で配信	R1年度			河川監視カメラ7ヵ所稼働中 量水票の更新(1ヵ所)	R1年度	町内2箇所に河川監視カメラを設置しHPで映像公開	R1年度					
			今後の予定	継続実施	継続実施			河川監視カメラ機器メンテナンス	R2年度	継続実施	継続実施					
		・効果的な「水防災意識社会」再構築に役立つ広報や資料の作成	実施状況	出前講座、広報紙へ特集記事の掲載 CATVで啓発	R1年度	出前講座等を利用し、防災知識の普及啓発活動を行う	H29年度～			ポスター掲示	R1年度			ポスター掲示	R1年度	
			今後の予定	継続実施	継続実施	実施予定	～R2年度			継続実施	継続実施			ポスター掲示	R2年度	
		・災害を風化させないために河川に関するイベントや防災訓練等を実施して、住民が河川や堤防に関心を持つ取組を積極的に行う	実施状況	出前講座で過去の災害を紹介	R1年度	町内イベントに防災ブースを出展	H29年度～	過去の災害箇所の石碑設置	R1年度	R1.11.10勝央町総合防災訓練実施	R1年度	防災訓練の実施(R1.11)	R1年度	未実施	R1年度	
			今後の予定	未定	未定	水辺の楽校等での展示を検討	R2年度～	検討中	R2年度	自主防災組織等と連携した訓練実施	R2年度	防災訓練の実施(R2.11)	R2年度	未定	未定	
2)ソフト対策の主な取り組み ②氾濫特性に応じた効果的な水防活動																
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	・水防団等が参加する洪水に 対しリスクが高い区間の共同 点検	実施状況			河川事務所が実施する共同点検に 参加	H29年度～										
		今後の予定			河川事務所が実施する共同点検に 参加	～R2年度										
	・関係機関が連携した実働水 防訓練の実施	実施状況	隔年で総合防災訓練を開催	隔年	実施済み	H28年度			R1.11.10勝央町総合防災訓練実 施。町、消防団、消防署、自主防 災組織が連携して実施	R1年度	未実施	R1年度				
		今後の予定	総合防災訓練を実施予定	R3年度					消防団等と連携した水防訓練実施	R2年度	令和3年度実施予定	R3年度				
	・水防活動の担い手となる水防 団員の募集及び水防協力団体 の募集・指定を促進	実施状況	実施済み	R1年度	実施済み	H28年度～			ポスター掲示	R1年度	消防団と連携 水防月間ポスターの掲示等による 広報を実施	R1年度				
	・水防に関する広報の充実(水 防団確保に係る取組)	今後の予定	主に団員や学校を通じて広報	R2年度	今後もホームページや広報誌等で 募集を継続する。	継続実施			継続	継続実施	継続実施	継続実施				
	・市町村庁舎や災害拠点病院 等の施設関係者への情報伝達 の充実及び機能確保のための 対策の充実(耐水化、非常用 発電等の整備)	実施状況			未実施	H30年度			未実施	R1年度						
		今後の予定			未定	～R2年度			未定	R2年度						
	・地域の建設業者による水防 支援体制の検討・構築	実施状況	建設業協会美作支部等と協定締結	H19年度	未実施	H30年度	新規協定なし		岡山県建設業協会美作支部との間 で協定締結し支援体制構築済み	R1年度	岡山県建設業協会美作支部、三共 リース津山営業所との間で協定締 結し支援体制構築済み	R1年度				
		今後の予定	定期的な内容の確認	R2年度	未定	～R2年度	今後も引き続き、支援協定をいた だける団体と協定締結に向けて検討 を実施	—	—	—	—	—				
	2)ソフト対策の主な取り組み ③長期化する浸水を一日も早く解消するための排水対策															
	■排水計画(案)の作成および排水訓練の実施	・排水機場・樋門・水門等の情 報共有を行い、大規模水害を 想定した排水計画を検討及び 訓練の実施	実施状況	未実施	R1年度	未実施	H30年度			未実施	R1年度					
			今後の予定	未定	未定	未定	～R2年度			未定	R2年度					